



例年より少し遅い梅雨入りをし、気温も湿度も徐々に高くなってきました。子ども達は汗をかきながらも、元気いっぱい遊んでいます。ただ、この時期は熱中症が心配されます。6月の園だよりでも書きましたように、マスクは戸外遊びでは外し、室内でも状況によってつけたり外したりと担任が判断していきます。子ども達の健康状態を見ながら、元気に楽しく過ごせるようにしていきたいと思います。

気持ちの良い挨拶が多く聞かれるようになり、園内も活気づき、嬉しく感じているところです。朝、玄関で子ども達を迎えています。毎年必ず、ピシッと気を付けの姿勢をして「おはようございます！」とお辞儀をしながら挨拶をする子が出てきます。今年もそうした姿が見られますが、いつもより今年はその姿が多いように感じます。気持ちがしっかり相手に向いている挨拶は本当に気持ちの良いものです。ご家庭でのあいさつの習慣や、声掛けのおかげもあると思います。挨拶はコミュニケーションの第一歩。幼稚園のうちから習慣づけていきたいですね。



## 各クラスの遊びがおもしろい！！

6月も半ばとなり、各クラス共に子ども達の遊びが盛り上がってきています。

### 【年少りんご組】

砂場で山を作ったり、水を流して川を作ったりしていたりんご組さんですが、雨の日も多くなり、室内での遊びも楽しんでいます。新聞紙の遊びでは、ビリビリとちぎったり、それを「雨だー」といって降りかけたり、新聞紙の海をおよいだり……。汗を流して気分を発散していました。また、この時期によく見かけるカエルに親しみ、カエルのお面をつけてカエルになり切ってピョンピョン飛び回っています。そのカエルさんたちが、新聞紙の海で泳いだり、紙のジュースを作ってジュース屋さんになったり、カエルのように跳びながらフープをくぐったりする姿は、もうカエルそのもの！！担任は、カエルの海を作ったり、ごっこ遊びができる場を作ったり、時にはカエルのお母さんになったりと、大忙し。この3歳の時期に、気分を思い切り発散させる体験、好きなものになりきる体験、見立てて〇〇ごっこをする体験をしっかりと楽しむことが大事だと思います。

### 【年中き組】

生き物大好きなき組さん。毎日、メダカやツマグロヒョウモンの幼虫のお世話をしたり、「あっ、さなぎになったよ」と成長の変化に気付いたりしています。さなぎから蝶になった時は感動でいっぱいでした。そんな子ども達に、もっと生き物との触れ合いをさせたいと、担任は上津地区にある『カエルランド』（個人宅の休耕田を地区のボランティアさんがピオトープにしておられます）に園外保育を計画しました。カエルランドにつくと、まずボランティアの方々から「生き物は大切に触れること」「捕まえた生き物は、帰りには返すこと」などを約束し、早速遊び始めました。池の中にたくさんのオタマジャクシを見つけビックリ！大きなトノサマガエルが飛んできてビックリ！！慣れてくると、オタマジャクシやトノサマガエルを捕まえようと一生懸命になったり、アカハライモリを恐る恐る触ってみたり……。と、自然の中で様々な体験をしました。翌日は、「みんなで大きなトノサマガエルを作ろう！」と張り切っていました。たくさんの自然や生き物に触れ、たくさんの発見や気づきが楽しい遊びにつながっています。

### 【年長あお組】

園外保育で風を感じたことから始まった「風の遊び」。自分達で作った風車や、いろいろな大きさのビニール袋を持って園庭を走ったり、築山の上に登ったりして、風車が回るのを楽しんだり、風をたくさん集めたりして遊んでいます。「たくさん走るとたくさん回るよ」「築山の上だと、何もしなくても袋が膨らむ！」と、目に見えない風の力を感じたり、いろいろなことに気付いたりしていますよ。また、室内でも風で遊ぼうと、ウチワをあおいで自分達の作ったものを転がすことを考えました。たくさんあおいで早く転がしたり、一本橋を落ちないように転がしたり、坂を上らせようと必死であおいだり……。自分のめあてに向かって試行錯誤しながら取り組んでいます。フリスビーも登場し、遠くまで飛ばそうと、飛ばし方や形を工夫しています。担任は、一人一人の子ども達の願いを受け止め、一緒に考えたり、ヒントを出してみたり、材料を集めたりし、年長のこの時期に大切な「ちょっと頑張ったり、考えたりしたら実現し、達成感を味わう」という姿が見られるように支えています。

どの子も、「あれ？できないぞ」「こうしたら？」「やった！」など、いろいろな体験をしながら自分達の遊びを楽しんでいます。



「カエルの海だよ。ジャボーン！」3歳



「カエルランドでオタマジャクシ発見！」4歳児



「風で車が坂道登るかな？」5歳児

## 年長さん、ジャガイモの数も数えました

6月10日に幼稚園の畑で栽培しているジャガイモの収穫をしました。そして、玉ねぎ同様、年長児が数を数えることになりました。遊戯室に運んだジャガイモを前に担任が「どうやって数える?」と問うと、「あのね、大きいの中くらいの小さいのに分けて、1個ずつ数える」「並べて数えればいい」「10個ずつ並べる」「4個・・・いろいろ意見が出ました。その中で「2個ずつ並べる。だって手は2本あるから2個持てるから2個並べられるよ」という意見が出て、みんな「いいね」と賛同し、みんなで大きさ別に2個ずつ持って、2列に並べていきました。全部2列に並べ終わった後、担任が「さあ、これからどうしようか?」と問うと、「2のかたまりをね、5個ずつにする」と言いました。担任はその子の考えを、ホワイトボードにわかりやすく書きました。みんなはそれを見てイメージできたのか、「いいね、そうすると1個、2個・・・あっ10個になるよ」と、目を輝かせました。そして、一生懸命2個ずつ並んだジャガイモを5列でまとめ、10個のかたまりを作って、数を数えました。全部で「654個あった!!」子ども達はたくさんのジャガイモに大喜び。おみやげに、大1個中4個全部で5個のジャガイモを持って帰りました。おうちではどんな美味しいお料理になったでしょうか。幼稚園では、収穫した玉ねぎとジャガイモを使って、カレーパーティをします。

今回のジャガイモ数えでも、子ども達はいろいろなことを感じ取りました。大きさの分類、2個ずつのまとまり、2個を5つ集めたら10個のかたまりになる・・・。玉ねぎ数えの時に書きましたが、遊びや楽しい体験の中で、楽しみながら数に親しんだり、かたまりとしての数を感じ取り取るなどの体験を、この幼児期にたくさんしていきたいと思います。それにしても、玉ねぎ数えの時に10個のかたまりにしたことが、今回しっかり生かされていて、子どもってすごいなと思いました。



## 安全教育の大切さ

6月16日に「交通安全教室」、17日に「火災時の避難訓練」を行いました。

「交通安全教室」では、交番の方に来ていただき、道路の歩き方や渡り方、駐車場や道路で遊ぶと危ないことなどを話してもらいました。その後は、横断歩道のシートを使って、実際に横断歩道を渡る練習をしました。まず、「右、ひだり、右」を見て、車が来なかったら、手をしっかりあげてキョロキョロしながらさっと渡ります。この「キョロキョロ」は、渡っている最中にも車が来ないか見るためです。年少、年中児は4~5人で、年長児は一人ずつ渡る練習をしました。みんな、教えてもらったことをしっかり覚え、上手にわたることができましたよ。登降園の時にも「おうちの人と手をつないで歩く」「道路では、広がって歩いたり、遊んだりしない」「横断歩道は手をあげてよく見て渡る」「駐車場では遊ばない」等の約束事を守って、安全に過ごせるよう、ご協力をお願いします。

交番さんが「平田地区は、子どもの事故が少ない」と褒めておられました。ご家庭での安全教育のたまものだと思います。

「火災時の避難訓練」は、今年度第1回目。クラス活動時に「ジリリリー!!!!」と大きな非常ベルが鳴ると、子ども達の表情がこわばりました。でも、担任の「じっとして、静かに放送を聞きましょう」の言葉をよく守り、放送の「幼稚園が火事です。お庭の雲梯の前に逃げましょう」という避難開始を聞き、担任を先頭に、静かに逃げることができました。終わってから子ども達は「ベルが怖かった」「静かに逃げた」と言いました。そこで「今日は本当の火事ではなかったけれど、練習をしておかないと、本当に怖いことが起こった時に動けなくなるから、練習しておくことが大事だよ。幼稚園では先生、おうちではお父さんやお母さんの言われることをよく聞いて動こうね」と約束しました。

交通安全教室も、避難訓練も、何も起こっていない時にするので、ぴんときていない子もきつっていることでしょう。でも、全国的に悲慘な交通事故は後を絶ちませんし、自然災害も毎年のように起こっています。日ごろから危機管理の意識を高く持って、訓練したり、話し合ったりしておくことが、いざという時に役立つと思います。幼稚園でもしっかり子ども達に身につくようにしていきたいと思います。ご家庭でも、話題にしてみてください。

